

項目	南アフリカ共和国	根拠資料
1. 基礎データ		
高等教育機関数（大学・大学院・その他）	<p>教育機関：計26校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うち、従来の大学：11校。学士号単位を与え、有能な研究キャパを有し大学院生の人数も比較的高い。 ・うち、技術大学：9校。職業用トレーニングに向けた学習カリキュラムであり生徒教育に力を入れているが同時にリサーチも行っている。 ・うち、一般大学：6校。学士号、技術査証を与えており、生徒教育がメインではあるがリサーチも行っている。大学院生も割合的に多い。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認証済みTVET学院（技術及び職業トレーニング）：50校。およそ364のキャンパスを全国的に都市部及び地方で経営。 ・私立教育機関：280校。教育省に登録されている。個人経営、コミュニティ経営、民間企業経営などとオーナーシップは様々な形式を取る。 	<p>1. 従来の大学： https://ieasa.studysa.org/wp-content/uploads/2019/11/SSA_18th.pdf</p> <p>2. 私立機関： https://www.dhet.gov.za/Registers_DocLib/Register%20of%20Private%20Colleges%2011%20March%202020.pdf</p> <p>3. TVET 学院： https://www.dhet.gov.za/SitePages/Inst_TVET1.aspx</p>
高等教育の卒業生数（学部生、院生）	<p>修士号取得者：27,411人 博士号取得者：15,209人 ポストドック：3,682人 （※2019年時点）</p>	<p>http://www.statssa.gov.za/publications/Report-92-01-05/Report-92-01-052017.pdf</p>

項目	南アフリカ共和国	根拠資料
<p>高等教育概要（入学、学生生活、卒業）</p>	<p>・入学生徒数：1,070,000人 （※2018年度時点）</p> <p>・学生生活 南アフリカの大学の生徒は精神的に弱い傾向を見せる傾向があり、直接成績にも影響を及ぼす。2015年、16年は歴史的植民地化や学費高騰化に対する不満がストなどの学生運動として表現された。1年生、2年生の間で行われた調査によるとモチベーション、ストレス、カウンセリングを求めるなどの学生生活に対する調和困難が見られる。過剰な授業ストレスは成績にも関わっていることが見られる。申請手続きの遅れ、家族のプレッシャー、資金不足などにより興味がないう学部に入學しているのも要因として挙げられる。家族の薬物・飲酒中毒、HIV/エイズや犯罪も原因として挙げられる。</p> <p>・卒業 貧困層出身の学生では特にこの傾向が目立つ。経済的な困難によって住む場所を確保するのが困難とするケースが目立つことが報告されている。</p>	<p>https://www.cmi.no/publications/6180-crisis-at-south-africas-universities-what-are-the#:~:text=Finally%2C%20the%20challenges%20facing%20South,the%20ANC%20leadership%20and%20government.</p>
<p>学生が就職する一般的な方法、一般的なプラットフォーム（就職情報サイト名など）</p>	<p>・就職掲示板：Pnet, Career junction, Indeed, LinkedIn, Glassdoor, Gumtree, Careerjet and Careers 24</p> <p>・新聞広告：ローカル、地方新聞</p> <p>・就職フェア：企業と大学が共同でキャンパスリクルートイベントを実施</p> <p>・リクルートエージェント：インターンシップ、初級レベル職リクルート活動</p>	<p>www.pnet.co.za https://www.gumtree.co.za/c/jobs-near-me https://www.glassdoor.com/Job/south-africa-jobs-SRCH_IL.0,12_IN211.htm</p>

項目	南アフリカ共和国	根拠資料
卒業後の一般的なキャリア形成	<p>キャリアトレンド動向としては親や祖父母のネットワークを通して就職活動を行う第2世代目の卒業生は就職しやすいとされている。インターンシップや卒業後初の仕事を手に入れる方が修士号などの学位を取得するより大事だとされている。一度就職してしまえば5年以内にマネジメント職に着く確率が高いとされている。高等教育経営情報システムのデータによると190,000人の卒業生のうち雇用マーケットに吸収されるのは年間41,000人とされる。吸収される卒業生の割合が少ないのは産業化が進んでおらず、経済が低迷していることが要因として挙げられる。車を所有している人の方が採用される確率が高く、車を買えない低所得層出身の人達は不利な立場に立つことになる。さらに問題点としてあげられるのは高等教育機関で学ぶスキルと就職先で必要とされるスキルが一致していないということ。この問題は全般的に高等教育機関が検討する必要がある。</p>	<p>https://pdby.co.za/understanding-graduate-unemployment/#:~:text=According%20to%20Statistics%20South%20Africa,2019%20QLFS%20is%20about%202.1%25.</p>
キャリアへの一般的な考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）	<p>大半の卒業生は南アフリカで現地企業及び外資企業で働くことに興味を持つ。海外での短期及び長期就職にも興味を示す。理由としてあげられるのは比較して給料、手当、キャリア開拓、海外移動、就職の安定度、ワーク・ライフバランスの均衡の条件が良いことが挙げられる。</p> <p>現地企業は労働組合の活動による不安定な経営に悩まされているという印象があり、外資系の企業は現地経済が不安定でも本国の会社が介入することによって安定が保たれるという印象がある。過半数以上の卒業生は外資系の会社で働くことを望む。</p>	<p>https://www.iol.co.za/business-report/opinion/role-of-multinational-firms-in-promoting-sa-skills-and-job-creation-1728788</p>
学卒者／院卒者の給与の考え方や相場	<p>ペイスケールのデータによると大学卒業生の初任給は平均125,850ランド。2年目からは平均R180,850ランドまで上がる。南アフリカでは工学部の卒業生が一番高給を得ることができ、最低が教育学専攻の卒業生。一般的には給料は最大のインセンティブではなく、とにかく社会のシステムに入り職場での足場を確保することだと言われている。人によってはこのチャンスを手にするために無給のインターンシップに参加している。2020年のデータによると保険数理士、アナリスト、弁護士、投資アナリストやいくつかの工業部門職が最高給職として取り上げられている。これらの職の平均初任給は最低350,000ランドである。2020年の全体の平均初任給は220,000ランドである。</p>	<p>https://sagea.org.za/the-sagea-employer-benchmark-and-candidate-insights-2020/</p>

項目	南アフリカ共和国	根拠資料
学生との主要交流イベント（日本企業も参加できるイベント）	トップ10の就職イベントは2月から11月にかけて行われる。大半は業界別のものであるが一般的なのもも大学キャンパス内で実施され、他にはヨハネスブルグやケープタウンに展示センターが設けられる。トップ2のイベントには"Working World Exhibition"と "Rising stars careers expo"というものがある。参加者数と参加企業の数が増えている。	https://www.htxt.co.za/2019/02/01/6-student-career-expos-to-look-forward-to-in-2019/
2. 日本語人材		
外国への留学生数、うち日本への留学生数	UNESCOの2020年学生モビリティ調査によると世界50カ国における南アフリカ人留学生は合計9,130人である。留学先トップ3カ国はアメリカ、ドイツとイギリスである。同じデータソースによると86人の南アフリカ人が日本の大学及び大学院に留学している。リンク参考。	http://uis.unesco.org/en/uis-student-flow
日本語専攻の卒業生数	ロックダウンにより日本大使館MEXT（文部科学省）代表者には連絡が取れず、データ収集は行われていない。	
日本語を専攻する学生の人気の就職先／一般的な就職先	2017年には131の日本企業が南アフリカに存在する（リンク参考）。一番人気のある2カ国語企業はToyota SA, ITOCHU, Hesto Harnesses, Hitachi, Mitsubishi Power Systems & Heavy Industries, 丸紅と豊田通商である。この情報は2020年LinkedIn Talent Insightレポートによる。南アフリカ在住専門職につく日本企業及び他の企業で働く日英バイリンガル社員を対象にしている。このレポートの目的の為にリストの100社中日本企業に特に注目している。	1. https://abp.co.jp/PDF/ABP_List_Japanese_Companies_Doing_Business_in_Africa_Eng_2017.pdf 2. https://www.linkedin.com/insights/report/shared/d4d41f95-fcda-4efe-9ffa-8a814bed14da
キャリアへの一般的な考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）	集められた情報によると卒業生は日本企業と現地企業のどちらでも意欲的に働く姿勢を示す。卒業後の日本でのインターンシップを通して文化的な理解を深めることによって、より日本企業に雇用されやすい立場に置かれる。この調査は電話でタレントインサイトレポート上のサンプルを通して集めたもの。	Sample telephone calls conducted with japanese speaking South Africa.

項目	南アフリカ共和国	根拠資料
日本語を専攻する学生へ日本企業がコンタクトする方法（イベント、大学就職課へのコンタクト、など）	<p>以下の方法で日本企業はリクルート活動を行っている。この情報は現役で日本企業・日系組織で働く人達に直接聴いたものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎年ヨハネスブルクで開催される日本留学フェア 2. 日本政府のMEXT（文部科学省）奨学金プログラム 3. Afrocam Business Education（ABE）奨学金、インターンシップ制度 4. Japan Exchange and Teaching（JET）プログラム 	
日本語専攻を有する主要高等教育機関3校程度とそれぞれの特徴、ウェブサイト（英語）	<ul style="list-style-type: none"> ・ケープタウン日本語会 ・プレトリア大学終身教育プログラム <p>南アフリカにおける日本語高等教育機関は1校のみ。プレトリア大学には高等教育としてはサブサハラ地域唯一のブレンド日本語教育プログラムがある。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. https://www.up.ac.za/centre-for-japanese-studies 2. https://www.za.emb-japan.go.jp/en/topics/languageSchools.html
3. IT・デジタル関連人材		
(1) 大学生・大学院生の新卒者の採用		
IT・デジタル専攻の卒業生数	57,000人の工学サイエンス科の卒業生が大学を卒業（2014–2018年度卒業生累計、2019年統計確認）。この数字にはIT、コンピューターサイエンスや他の工学部専攻卒業生を含む。	http://www.statssa.gov.za/publications/Report-92-01-05/Report-92-01-052017.pdf
ITを専攻する学生の人気の就職先／一般的な就職先	SAGEA(南アフリカ卒業生就職エージェンシー) 2020ではマイクロソフト、アマゾンとIBMがIT、技術関連の卒業生の間でトップ雇用社として評価されていると発表。他にはVodacom, MTNやTelkom社などを含む。	https://sagea.org.za/
キャリアへの考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）	<ul style="list-style-type: none"> ・ITやデジタル学科卒業生はキャリア順路や報酬に期待を抱いている。 ・他の学科を卒業した生徒たちに比べ就職に速く着けるとされている。 ・就職ポータル上でもITやデジタル業関係の求人案内は頻繁に上がる。 ・学制もIT、デジタル関係のリクルーターの数の多さは、セクターのポテンシャルを意味していると解釈し、ポジティブな印象を抱いている。 	https://www.statista.com/statistics/603769/south-africa-ict-employment-by-industry-sector/#statisticContainer

項目	南アフリカ共和国	根拠資料
外国語力（日本語、英語）	統計によると南アフリカでは130名の専門職員がバイリンガルである。2018年10月当時南アフリカ在住日本人人口はおよそ1,400名。日本人学校は1校のみあり、南アフリカ人の日本留学生数が少ないためである。	https://www.statista.com/statistics/1083645/japan-number-japanese-residents-south-africa/
第三国（当該国&日本以外）での就職状況	アフリカ大陸、サハラ砂漠以南の国には南アフリカ、ナイジェリア、ケニア、エチオピア等、いくつかの重要なテクノロジー、ICT市場がある。発展途上国枠内ではアフリカ大陸トップのICT就職環境や報酬環境が整っている。IBMやマイクロソフトなどのグローバル企業も拠点を置く。	1. https://www.icasa.org.za/news/2019/the-state-of-ict-report-shows-growth-in-employment-within-the-sector 2. https://www.itweb.co.za/content/nWJadMb83oGvbJ01
日本企業や日本での勤務の考え方（あれば）	日本大使館の在南アフリカ20周年を記念するレポートによると日本企業のブランド力は南アフリカでは高い。長年にわたる日本企業の南アフリカでの活動は多くの卒業生やプロフェッショナルにも定評がある。給料が良く、社員トレーニングも充実し、最新のインフラ・機具のアクセスがあるという印象。電話インタビューによって日系企業で採用されている社員にアンケートを行った結果。	https://www.za.emb-japan.go.jp/en/Japan_SA/japanese_prospectus2014.pdf
IT関連専攻を有する主要高等教育機関3校程度とそれぞれの特徴、ウェブサイト（英語）	<p>トップ高等教育機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヴィッツ大学IBM研究室：良質な卒業生、評判、リサーチ機能 ・プレトリア大学：マルチ・キャンパス・リサーチ大学 ・ステレンボッシュ大学：世界トップ100大学に入り画期的なプログラムで知られる。 ・ヨハネスブルグ大学：南アフリカでは最大級の一般公立大学 ・ケープタウン大学：発展途上国の中でのグローバルランキングは10位 	<p>Websites and contacts</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. https://www.wits.ac.za/ - +27 (0)11 717 1888: barry.dwolatzky@wits.ac.za 2. www.up.ac.za - Tel: +27 12 420 4553: ati@up.ac.za. 3. http://www.sun.ac.za/english - Tel 021 808 9111: info@sun.ac.za. 4. www.uj.ac.za - +27 (0) 11 559 4555 : mylife@uj.ac.za 5. https://www.uct.ac.za/ - +27 (0)21 650 4375 : ebe-faculty@uct.ac.za

項目	南アフリカ共和国	根拠資料
IT・デジタルを専攻する学生へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	<p>・南アフリカー日本学生交流フェアが毎年ケープタウンで11月に開催される。</p> <p>・CTEX (Career and Training Expo) は毎年ヨハネスで開催される。</p> <p>・Unisa Career Fair がヨハネスブルクで開催される。</p> <p>・Africa Tech Festival が毎年10月にヨハネスブルクで開催。</p> <p>・LinkedIn : LinkedInチャンネルを利用して雇用活動を実施。</p> <p>電話インタビューによって日系企業で採用されている職員に対してアンケートを行った結果、以上の手段を使って日本企業が雇用活動を行っていることがわかった。インターネット上のリサーチからもこれ等のイベントは日本企業の積極的な参加が見られる。</p>	<p>1. https://www.unisa.ac.za/sites/myunisa/default/Learner-support-&-regions/Counselling-and-career-development/Explore-careers/Unisa-Careers-Fair www.ctex.co.za</p> <p>2. https://tmt.knect365.com/africa-tech-festival/2020-partners/</p>
(2) 実務経験者（大卒者）の採用		
IT・デジタル分野での就労者数	最新版のICASAの報告書によると2019年の統計数値は61,757人。	https://www.icasa.org.za/legislation-and-regulations/state-of-ict-sector-in-south-africa-2019-report
実務経験者（転職者）の就職方法	<p>一番人気のある方法は就職掲示板、新聞広告、企業ウェブサイト等。IT専門のリクルート会社もある。</p> <p>就職掲示板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Pnet ・Career junction <p>エージェント</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Robert Walters 2. Michael Page 	<p>https://www.pnet.co.za/</p> <p>https://www.careerjunction.co.za/</p> <p>https://www.michaelpageafrica.com/</p> <p>https://www.robertwalters.co.za/</p>
外国語力（日本語、英語）	LinkedInタレントレポートによると南アフリカにはおよそ250名のバイリンガルIT業界専門職員がいることが分かる。この大半は初歩的な言語力を持つとされている。大半の人は英語をメインとして仕事で利用している。本部との取引の際に日本語を活用している。	

項目	南アフリカ共和国	根拠資料
IT・デジタル分野の実務経験者へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	日本企業は以下の方法で雇用活動を行っている。この情報は日系IT企業に就職しているIT業専門社員等から直接収集 <ul style="list-style-type: none"> ・LinkedIn ・就職ポータル：Graduate 24, Pnet, Career 24 ・専門リクルーター：IT業リクルーター（ヘッドハンター） ・就職フェア：Africa Tech, CTEX 等 	この情報は日系IT企業に就職しているIT業専門社員等から直接情報収集。
4. 機械工学・電気関連人材		
(1) 大学生・大学院生の新卒者の採用		
機械工学・電気関連専攻の卒業生数	・57,000人の大学での工学部専攻卒業生がいる （※2014年－2018年累計、2019年10月報告）	http://www.statssa.gov.za/publications/Report-92-01-05/Report-92-01-052017.pdf
機械工学・電気関連系を専攻する学生の人気の就職先／一般的な就職先	・Sasol, Transnet, Eskom, Aurecon と BHP.	https://careeradvice.careers24.com/career-advice/money/the-best-engineering-companies-to-work-for-in-south-africa-20160912
キャリアへの考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）	一般的にはインターンシップ制度を盛んに導入している安定した大規模な国営会社で働き、卒業後数年間働いて経験を積む。その後民間企業に転職してキャリアの拡大を求める。工学を専攻した卒業生は一般的に充実した仕事を求め全世界で雇用を求める傾向がある。柔軟性が効く分野であるため、世界的にも雇用される機会は豊富にあると言える。	Interviews conducted with sample group to derive opinions.
外国語力（日本語、英語）	大半の2カ国語習得者は南アフリカ人。初歩的な言語力のため、日常的には利用されていない様子。日本人スタッフは2カ国語とも流暢にビジネスレベルの会話力を持つ。理由としては本国のスタッフとは日常的な接触はないため。	Sample taken from South Africans who speak Japanese working for Japanese companies in South Africa.

項目	南アフリカ共和国	根拠資料
第三国（当該国&日本以外）での就職状況	工学専攻、電気工学専攻の卒業生は南アフリカでは需要が高い。この分野における求人広告の数字を見ると彼らのスキルは必要とされている。初任給もやや好意的に評価されており平均からやや高めと見られている。現地の会社と外資の会社同様、在学中2年目から雇用したり学費を負担するなどの方法を用いて長期雇用に導く制度を導入している例がよく見られる。	
日本企業や日本での勤務の考え方（あれば）	南アフリカのエンジニアリング界における日本の存在は大きく卒業者の間では数十年來の評判が定着している。トヨタや日立はメジャーな企画を実施しており雇用社としてスポットライトを浴びる存在である。安定している会社として評判が良く、高給料、良心的な手当て、社員の面倒見の良さで知られている。日系企業で働く南アフリカ人を対象とするアンケートが実施された。アンケートの形式は規格化されたもの。	
機械工学・電気を専攻する学生へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	-	

項目	南アフリカ共和国	根拠資料
機械工学・電気関連専攻を有する有力な高等教育機関3校程度とそれぞれの特徴、ウェブサイト（英語）、連絡先	<p>・プレトリア大学：南アフリカではトップの大学に入り、現場登校モデル大学としては南アフリカでは最大。 ssc@up.ac.za Tel: 012 420 3111. https://www.up.ac.za/.</p> <p>・ケープタウン大学：研究も盛んに行われ、アフリカの大学としてはリーダー的な存在。実績はイノベーション、教育、市民参加を通して高レベルを維持。 admissions@uct.ac.za Tel : 021 650 2128</p> <p>・クワズルナタル大学：南アフリカ的な性質を代表する大学であり学力レベルも高く、イノベーションに富んだりサーチ、企業家育成に力を入れており、社会インテグレーションにも力を入れている。 education@ukzn.ac.za Tel : +27 31 260 1111</p> <p>・ヴィットヴァータースラント大学（ウイツ大学）：国際的にもリサーチが評価されており良質なリサーチ、学力レベルはよく知られており、アフリカのみならず全世界において人権・社会問題への取り組みは知られている。</p> <p>・ステレンボッシュ大学：南アフリカの高等教育機関の中ではリサーチの数、学生の成績、研究者のランキングにおいてトップであり国際的にもレベルの高い学校として知名度がある。 info@sun.ac.za Tel : +27 21 808 9111</p>	1. https://www.saimeche.org.za/page/AboutMechanicalEngineering 2. https://worldscholarshipforum.com/best-engineering-universities-in-south-africa/
(2) 実務経験者（大卒者）の採用		
機械工学・電気関連分野での就労者数	30,000人弱	LinkedIn タレント・インサイトより

項目	南アフリカ共和国	根拠資料
実務経験者（転職者）の就職方法	<ul style="list-style-type: none"> ・会社ウェブサイト：インターンシップや雇用募集の広告 ・LinkedIn：日本の企業はLinkedInを利用して雇用活動を行なっている。 ・リクルーター：工学関係専門 ・就職フェア：CTEX,STEM,Indabas（建設業、鉱業） ・就職ポータル：PNET, Career junctionなど 	結果はポリゴットが実施したインタビューがもとになっている。
外国語力（日本語、英語）	南アフリカにおいて一番初めに日本語と英語両言語を流暢に話せた人たちは日本からの移住者。第二段目のグループは南アフリカにおいて日本語を学び、渡航して十分な言語力を身につけた人たちからなる。最後には初歩的なビジネス日本語を聞き取れるが商談は英語で行う人達。	
機械工学・電気を専攻する実務経験者へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	<ul style="list-style-type: none"> ・就職ポータル：Careers 24, Pnet, Career Junction ・IT専門家リクルート業者 ・就職フェア：Africa Tech, CTEX, U.P Engineering & IT Career Fair ・LinkedIn 	https://www.up.ac.za/calendar/event-info/2625882/engineering-built-environment-it-career-fair
5. その他		
当該国政府の高度人材育成方針	<p>南アフリカのHRD（人材開発）政策は2011年に国会に承認された。政策の目的は各サブシステムを統合する為。2014年には以下の国際開発計画が発表され、選挙における与党の約束を2019年までに果たす声明が発行される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイエンス、技術、工学、数学、言語、生活指導・スキルの分野における基本教育の強化 ・質の高い学業終了後のトレーニングや教育へのアクセス ・経済開発に役に立つスキルを備えた人材の育成 ・効率的、かつ効果のあるプランニングや実行能力が備わった国づくり ・リサーチや技術革新の分野における進展 	http://hrdcsa.org.za/wp-content/uploads/2017/07/Revised-HRD-Strategy-June-2017.pdf

項目	南アフリカ共和国	根拠資料
新型コロナウイルスの影響（短期的な変化に加え、構造的な変化等も見られる場合はそれも記載）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症はHRD政策に大きな影響をもたらしている。職場環境での仕事の仕方、交流の仕方、ビジネス作法や根本的なビジネスのあり方まで変化を余儀なくされている。 ・学校は従来の登校モデルからオンラインモデルへと変更。初等教育も高等教育も同等に影響されている。 ・卒業後トレーニングや教育も同じくオンラインモデルへ移行。 	https://www.eversheds-sutherland.com/global/en/what/articles/index.page?ArticleID=en/coronavirus/coronavirus-employment-south-africa

Copyright© 2021 JETRO. All rights reserved.